

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【公開番号】特開2018-5954(P2018-5954A)

【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2017-199056(P2017-199056)

【国際特許分類】

G 06 F 17/50 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 0 6 F

G 06 F 17/50 6 1 0 A

G 06 F 17/50 6 2 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月6日(2018.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設計物の立体形状を示す三次元モデルに対応する、複数の投影図から構成される二次元図面を表示可能な情報処理装置であって、

前記二次元図面を構成する複数の投影図のうち、少なくとも2つの、異なる方向から投影された投影図のそれぞれにおいて、寸法を算出するための基準となる要素の指定を受け付ける指定受付手段と、

前記指定受付手段で指定を受け付けた少なくとも2つの要素に基づいて算出された寸法を、前記指定受付手段で指定を受け付けた要素のうち、前記寸法を奥行き方向の寸法とする要素に対応付けて表示すべく制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記表示制御手段は、前記指定受付手段で指定を受け付けた複数の要素が平行な位置関係でない場合には、前記寸法の表示とは異なる表示をすべく制御することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記指定受付手段は、前記二次元図面を構成する任意の投影図において、奥行き方向の寸法を算出する対象となる要素である当該投影図を構成する面の指定を受け付けることを特徴とする請求項1又は2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記表示制御手段は、前記寸法の算出基準となる要素が指定された投影図とは別の投影図に、前記寸法の表示を行うべく制御することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

設計物の立体形状を示す三次元モデルに対応する、複数の投影図から構成される二次元図面を表示可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記二次元図面を構成する複数の投影図のうち、少なくとも2つの、異なる方向から投影された投影図のそれぞれにおいて、寸法を算出するための基準となる要素の指定を受け

付ける指定受付ステップと、

前記指定受付ステップで指定を受け付けた少なくとも 2 つの要素に基づいて算出された寸法を、前記指定受付ステップで指定を受け付けた要素のうち、前記寸法を奥行き方向の寸法とする要素に対応付けて表示すべく制御する表示制御ステップと、  
を含む制御方法。

【請求項 6】

設計物の立体形状を示す三次元モデルに対応する、複数の投影図から構成される二次元図面を表示可能な情報処理装置で実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記二次元図面を構成する複数の投影図のうち、少なくとも 2 つの、異なる方向から投影された投影図のそれれにおいて、寸法を算出するための基準となる要素の指定を受け付ける指定受付手段と、前記指定受付手段で指定を受け付けた少なくとも 2 つの要素に基づいて算出された寸法を、前記指定受付手段で指定を受け付けた要素のうち、前記寸法を奥行き方向の寸法とする要素に対応付けて表示すべく制御する表示制御手段として機能させるためのプログラム。